

令和6年度

ふるさと宮城の水循環保全条例第12条第6項
に基づく流域水循環計画の推進の状況の報告

〈南三陸海岸流域・北上川流域・

鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域〉

令和8年2月

宮 城 県

目次

I 流域水循環計画	1
II 健全な水循環の確保に関する取組の実施状況	4
1 概要	4
2 流域ごとの実施状況	5
(1) 南三陸海岸流域	8
(2) 北上川流域	10
(3) 鳴瀬川流域	14
(4) 名取川流域	19
(5) 阿武隈川流域	22
(6) 複数流域にまたがる取組	24
3 水道水源特定保全地域の指定	28
4 流域水循環計画推進会議の開催	29
5 管理指標による状況評価	30
(1) 南三陸海岸流域	30
(2) 北上川流域	31
(3) 鳴瀬川流域	32
(4) 名取川流域	33
(5) 阿武隈川流域	34
(6) 宮城県全体の管理指標まとめ	35

なお、本報告は、ふるさと宮城の水循環保全条例第12条第6項に基づく流域水循環計画の推進の状況の報告となります。

I 流域水循環計画

流域水循環計画は、「ふるさと宮城の水循環保全条例（平成16年宮城県条例第42号）」（以下「条例」という。）に基づき策定するもので、流域における健全な水循環の保全を図ることを目的とし、流域の水循環の課題への対応、流域の上流から下流までが一体となり、県民、民間団体、NPO法人、事業者、関係行政機関等による連携・協働を図っていくための具体的な施策を定めるものである。

県内を5つの流域に分け、条例第12条第2項の規定により、健全な水循環の保全を図る緊急度が高いと認められる流域から順に流域ごとの水循環計画を定めた。

鳴瀬川流域水循環計画については、平成21年3月に第1期、平成31年3月に第2期計画を策定した。

北上川流域水循環計画及び名取川流域水循環計画については、平成23年1月に第1期、令和3年3月に第2期計画を策定した。

一方、平成23年3月に発災した東日本大震災時点で未策定であった南三陸海岸流域、阿武隈川流域の流域水循環計画については、津波等により沿岸域における防護施設の被災や生態系の攪乱など、発災前後で流域の水循環を取り巻く環境が大きく変化したため、復旧・復興事業の完了を待って策定する方針とし、令和4年3月に第1期を策定した。

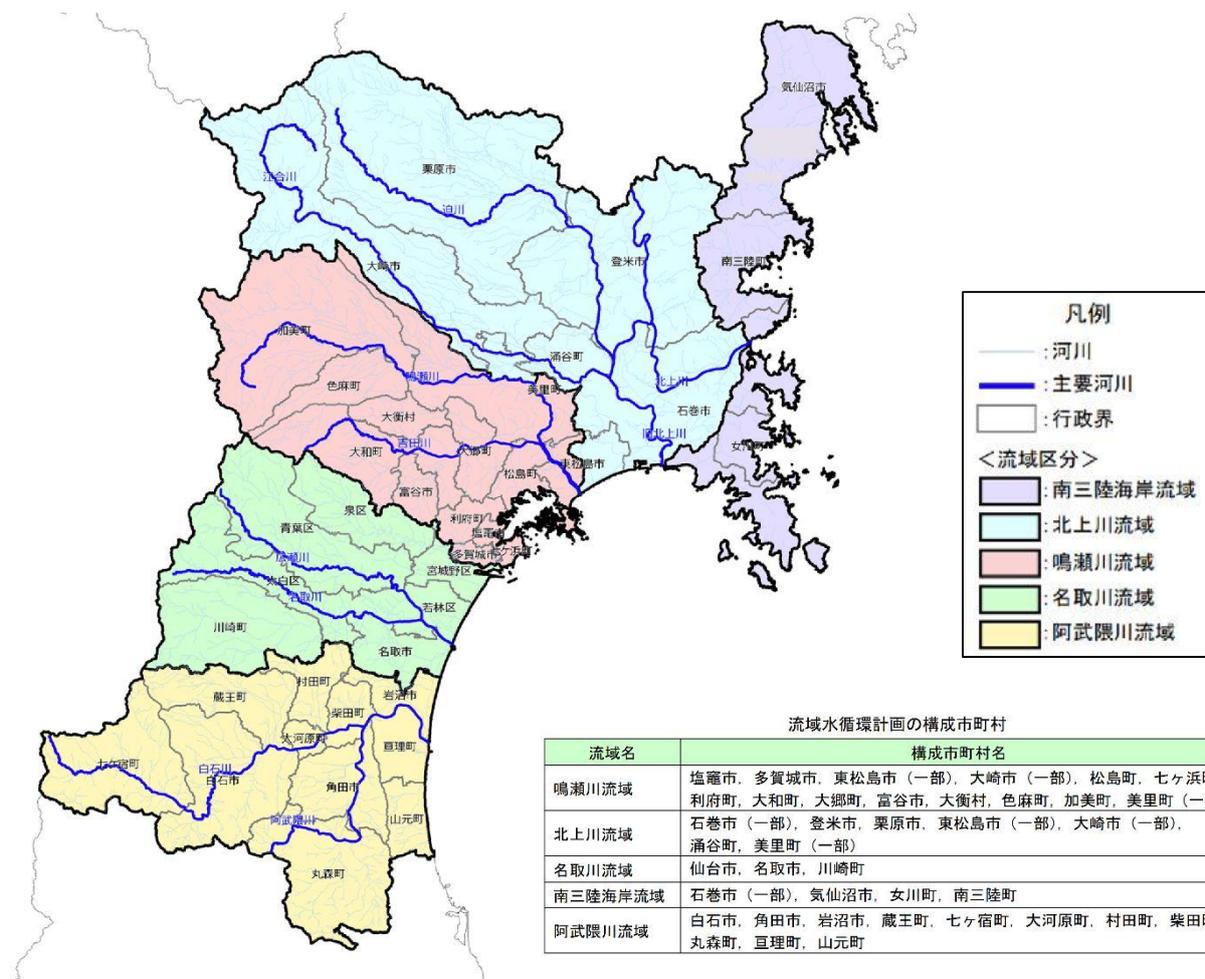


図 I 流域区分図

表 I 計画期間

計画	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	
基本計画							第1期計画 (H18~H26)									第2期計画 (R3~R12)				
鳴瀬川流域							第1期計画 (H20~H29)									第2期計画 (H30~R9)				
北上川流域									第1期計画 (H22~R1)								第2期計画 (R2~R12)			
名取川流域									第1期計画 (H22~R1)								第2期計画 (R2~R12)			
南三陸海岸流域																		第1期計画 (R3~R12)		
阿武隈流域																		第1期計画 (R3~R12)		

各流域水循環計画では、それぞれ以下の課題と対応が示されており、これを踏まえ、各関係機関が各種事業を実施している。

表 II 流域水循環計画における課題と対応

流域水循環計画(第1期)における課題		課題に対する対応
南三陸海岸流域	清らかな流れ ○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響	○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○生活排水処理施設整備による流入負荷量の削減 ○持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業による水質等調査
	豊かな流れ ○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco dot)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
	安全な流れ ○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供
	豊かな生態系 ○藻場の再生・保全	○宮城県藻場ビジョンに基づく、磯焼け対策等
	○気候変動等に伴う生態系の変化 ○プラスチックによる海洋汚染問題	○生態系に係るモニタリングやデータの収集 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進
流域水循環計画(第2期)における課題		課題に対する対応
北上川流域	清らかな流れ ○伊豆沼・内沼、蕪栗沼等の閉鎖性水域の水質改善・維持	○伊豆沼・内沼自然再生事業実施計画に基づく水質改善 ○蕪栗沼環境管理基本計画に基づく遊水地機能の維持と自然環境の保全 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進
	豊かな流れ ○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco dot)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
	安全な流れ ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供
	豊かな生態系 ○水生生物の生息環境の保全 ○マイクロプラスチック等による海洋汚染への意識啓発	○伊豆沼・内沼自然再生事業実施計画に基づく湖沼生態系の再生 ○水環境保全の普及啓発 水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進

流域水循環計画(第2期)における課題		課題に対する対応		
鳴瀬川流域	清らかな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○漆沢ダム、南川ダム等湖沼の水質改善 ○松島湾等海域の水質改善 ○水環境を大切にする啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○水源であるダム湖水質の適切な維持・管理 ○人工林の適切な保育及び間伐 ○長伐期施業、複層林施業、広葉樹林施業などによる多様な森林整備の推進 ○保安林指定及び適切な管理 ○下水道・浄化槽等整備の着実な推進 ○下水道の高度処理の推進 ○環境保全型農業の推進 ○高城川・貞山運河・東名運河の浚渫 ○水質・底質モニタリング調査の実施 ○関係団体が実施する環境教育等への積極的な参加、支援 ○環境教育の場としての水辺空間創出 	
	豊かな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○水の効率的な使用及び適正な利水 ○地下水涵養機能の向上(森林や農地等の適切な管理) ○新たな水資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○節水の普及啓発 ○巧みな水利用の継承とコミュニティの維持 ○農業水利施設の持続的な機能の発揮 ○渇水情報連絡会や利水委員会等による渇水時の低水管理及び円滑な水利用等の調整 ○人工林の適切な保育及び間伐 ○長伐期施業、複層林施業、広葉樹林施業などによる多様な森林整備の推進 ○耕作放棄地の発生防止、解消 ○鳴瀬川総合開発事業による漆沢ダムの治水専用化と筒砂子ダムの整備 	
	安全な流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○河川整備率の向上 ○海岸整備率の向上 ○東日本大震災による広域的地盤沈下への対応 ○危機管理体制の強化と防災意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○水害常襲河川における改修の着実な実施 ○鳴瀬川総合開発事業による漆沢ダムの治水専用化と筒砂子ダムの整備 ○甚大な被害を与えた東日本大震災、H27.9関東・東北豪雨への対応 ○災害復旧事業、復興事業の着実な実施 ○排水機能の向上 ○ハザードマップ、防災訓練・教育、情報収集・伝達体制の充実等、被害をできるだけ軽減するためのソフト対策の推進 	
	豊かな生態系	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性の保全 ○豊かな自然環境の保全 ○環境を大切にする啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○長伐期施業、複層林施業、広葉樹林施業などによる多様な森林整備の推進 ○保安林の適正な管理と整備 ○溪畔林・河畔林の保全 ○農村部の水田や屋敷林における湿地生態系の保全 ○河道内・周辺環境に配慮した河道改修など多自然川づくりの推進 ○侵略性外来生物の駆除 ○自然公園及び自然環境保全地域・緑地環境保全地域の指定 ○身近にある里地里山の自然環境の保全 ○自然環境の保全に配慮した開発行為への誘導 ○関係団体が実施する環境教育等への積極的な参加 ○環境教育の場としての水辺空間創出や学習機会の提供 	
	流域水循環計画(第2期)における課題		課題に対する対応	
	名取川流域	清らかな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○釜房ダム等の閉鎖性水域の水質改善・維持 	<ul style="list-style-type: none"> ○釜房ダム貯水池に係る湖沼水質保全計画に基づく汚濁負荷低減対策 ○閉鎖性水域に関する自然汚濁負荷削減対策調査 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組み地域の水環境の保全活動 ○環境保全型農業の推進
		豊かな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○渇水時の水利調整 ○水量減少に伴う魚類のへい死 ○大規模開発による水循環への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○導水等による河川流量の確保 ○みやぎ e 行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○魚道等における遡上降下環境の改善 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
		安全な流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○洪水時の防災体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供
		豊かな生態系	<ul style="list-style-type: none"> ○蒲生干潟、井戸浦・広浦等の再生 ○干潟や海岸、市街地近傍河川、水路等の生物多様性の保全 ○水生生物の生息環境の保全 ○マイクロプラスチック等による海洋汚染への意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○河川・海岸復旧工事箇所におけるモニタリングの実施 ○東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査 ○水環境保全の普及啓発 水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進
	流域水循環計画(第1期)における課題		課題に対する対応	
	阿武隈川流域	清らかな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組み地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進
		豊かな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○渇水時の水利調整 ○大規模開発による水循環への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○導水等による河川流量の確保 ○みやぎ e 行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
安全な流れ		<ul style="list-style-type: none"> ○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供 	
豊かな生態系		<ul style="list-style-type: none"> ○水生生物の生息環境の保全 ○プラスチックによる海洋汚染 	<ul style="list-style-type: none"> ○水環境保全の普及啓発 ○水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進 	

Ⅱ 健全な水循環の確保に関する取組の実施状況

Ⅰ 概要

(1) 清らかな流れ

公共用水域の水質調査、水生生物調査及び活動団体や市町村による美化活動が実施された。また、活動団体を中心に行われている小中学生等への環境教育も継続的に実施された。

(2) 豊かな流れ

流域内における水源かん養機能を維持し、豊かな水量を確保するための計画的な森林の整備・保全が実施された。また、森林の育成を目的とした植樹活動も関係行政機関と活動団体が連携して継続的に実施された。

(3) 安全な流れ

海岸部では、海岸防災林の再生活動などを通して防災活動が実施されたほか、小学生に対する教育活動も実施された。このような活動により、東日本大震災からの復旧・復興事業が着実に進捗した。

(4) 豊かな生態系

山間部では、森林の保全・整備が実施されるとともに、植樹活動も行われた。河川などの水域では、身近な生き物調査の実施や在来種の保護等、生態系の保全に努めた。また、様々な団体が連携して実施された環境保全活動を通して、身近な環境を大切にする意識の醸成が図られた。

2 流域ごとの実施状況

流域ごとにおける関係団体等の取組事例は次のとおりである。

なお、【 】内は報告団体を、枠内の清らか、豊か、安全、生態系は、それぞれ前述の清らかな流れ、豊かな流れ、安全な流れ、豊かな生態系を示している（着色部が該当する取組分類）。

表Ⅲ 関係団体等の取組事例一覧

流域区分	資料番号	事業名	取組実施者、連携団体等	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系
南三陸海岸流域	1	南三陸少年少女自然調査隊(年間活動)	南三陸少年少女自然調査隊、南三陸高校自然科学部、おきなくらEELs、南三陸町自然環境活用センター ほか	○	○		○
	2	田んぼの生き物観察会	童子下生き物研究会、南三陸米地産地消推進協議会、南三陸町教育委員会(入谷小学校)	○	○		○
	3	気仙沼湾内の海面清掃作業	NPO法人気仙沼清港会	○		○	○
	4	自然体験活動、社会協働教育活動、環境保全活動	特定非営利活動法人浜わらす、学校(気仙沼市立大谷小学校、仙台市立七北田中学校など)、地域団体(一社 前浜おらほのどつておきなど)	○			○
	5	ピーチクリーン(5月・7月・9月)	気仙沼本吉サーフィンクラブ、小泉ユニバーサルピーチユニット・小泉地域づくり協議会・気仙沼市・宮城県他多数	○			○
	6	外尾川親水活動	気仙沼本吉サーフィンクラブ、小泉ユニバーサルピーチユニット・小泉地域づくり協議会・気仙沼市・宮城県他多数	○			○
	7	南三陸海岸流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○
	8	水田の生き物観察会	新童子下集落(中山間地域等直接支払交付金)、南三陸米地産地消推進協議会、新みやぎ農業協同組合、気仙沼農業改良普及センター				○
北上川流域	9	水質汚濁対策連絡協議会による活動	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町村、水系内消防本部、石巻地方広域水道企業団	○			
	10	環境美化活動	日本製紙株式会社石巻工場	○			
	11	河川清掃、自然体験(カヌー体験、クラブ活動)、北上川とみやぎの運河群流域連携	NPO法人ひたかみ水の里、国土交通省北上川下流河川事務所、宮城県東部土木事務所、石巻市、石巻市観光協会、一般社団法人員山運河ネット、角張工務店	○	○		
	12	クリーンアップ湖沼群	登米市環境市民会議、NPO法人伊豆沼・長沼水環境ネットワーク、佐沼ロータリークラブ、平筒沼水・いきもの保全隊等	○			○
	13	瀬峰川自然観察会「生き物調査」	多面的機能支払交付金活動組織「藤沢むらづくりくらぶ」、小山田川沿岸土地改良区、宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部	○	○		○
	14	「田んぼの学校」(稲作体験、生き物調査、施設見学)	石巻地区管理体制整備推進協議会、北上地区保全会、石巻市立北上小学校(2・3年生)、北上川沿岸土地改良区、石巻市、北上地区保全会(施設見学を除く)、宮城県東部地方振興事務所農業農村整備部			○	○
	15	森林づくりのための保育作業及び災害復旧箇所への植樹活動	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署、NPO法人及び地域住民等		○		○
	16	北上川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○
	17	栗駒山麓ジオパーク推進協議会「夏休み特別イベント:田んぼダム出前講座」	宮城県田んぼダム実証コンソーシアム栗原圏域WG、栗駒山麓ジオパーク推進協議会、栗原市、小山田川沿岸土地改良区、迫川上流土地改良区、宮城県栗原地方ダム総合事務所、宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部				○
	18	北上川水系水辺現地調査(鳥類)	国土交通省東北地方整備局北上川下流事務所				○
	19	令和6年度 伊豆沼・内沼における外来魚運滞相管理を目指した捕獲等業務	環境省東北地方環境事務所、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(請負事業)				○
	20	ほたる水路・生き物調査	新田地区農村環境保全組合、志波姫小学校、志波姫中学校、里の生き物研究会、伊豆沼内沼どじょうなます研究会、宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部				○
	21	みやぎ出前講座「田んぼの学校」	東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部、迫川沿岸土地改良区、妻大岳ふる里守り隊				○
	22	伊豆沼・内沼自然再生事業、よみがえれ在来生物プロジェクト	環境生活部自然保護課、伊豆沼・内沼自然再生協議会、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、国際航業株式会社				○

鳴瀬川流域	23	水質汚濁対策連絡協議会による活動	江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町村、水系内消防本部、石巻地方広域水道企業団	○			
	24	堤防・公園除草業務	下伊場野水辺の楽校運営協議会、国土交通省北上川下流河川事務所、大崎市松山総合支所地域振興課	○			
	25	しちがはまクリーンサポートプログラム、巡回監視・回収	七ヶ浜町、ボランティア団体、地元住民有志	○			
	26	野蒜築港の研究、伝承、遺産保護、地域活性化、跡地案内	野蒜築港ファンクラブ、野蒜塾		○		
	27	鳴瀬川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○
	28	みやぎ出前講座(仕組み丸わかり！模型で説明「田んぼダム」)	北部地方振興事務所農業農村整備部、美里町産業振興課、美里町立中坪小学校、青生小学校、美里町産業振興課			○	
	29	みやぎ出前講座(仕組み丸わかり！模型で実験「田んぼダム」)	仙台地方振興事務所農業農村整備部、大和町立宮床小学校、大和町			○	
	30	鳴瀬川水系水辺現地調査(魚類)	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所				○
	31	アメリカザリガニ防除活動	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市、広長行政区、山谷行政区、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
	32	旧品井沼周辺ため池群を水源とする小川の生き物観察会	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会、広長地区行政区				○
	33	シナイモツゴ里親小学校への支援活動	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市立鹿島台小学校、美里町立小牛田小学校、東松島市立鳴瀬桜華小学校、石巻市立開北小学校、大崎市、広長行政区、山谷行政区、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
	34	シナイモツゴ放流会	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市立鹿島台小学校、美里町立小牛田小学校、東松島市立鳴瀬桜華小学校、石巻市立開北小学校、大崎市、広長行政区、山谷行政区、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
	35	保全ため池の見学および実習①	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市、広長行政区、山谷行政区、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
	36	保全ため池の見学および実習②	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市、広長行政区、山谷行政区、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
	37	全国シンポジウム。「水辺の自然再生共同シンポジウム」	NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群里山未来拠点協議会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、大崎市、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
	38	ミニシンポジウム・地域研修会	NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群里山未来拠点協議会、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会				○
39	「田んぼの学校」(生き物調査)	東松島地区管理体制整備推進協議会、東松島市立鳴瀬桜華小学校、鳴瀬土地改良区、河南矢本土地改良区、東松島市、宮城県東部地方振興事務所農業農村整備部				○	
40	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(鳴瀬川における魚類相調査)	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場、鳴瀬吉田川漁業協同組合、宮城県水産林政部水産業基盤整備課				○	
名取川流域	41	水質汚濁対策連絡協議会による活動	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町村、水系内消防本部	○			
	42	広瀬川1万人プロジェクト(河川・海岸一斉清掃)	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会、実行委員会に加入している地元企業、及び国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、宮城県、名取市、仙台市(建設局百年の杜推進課)など	○			
	43	釜房ダム周辺道路の清掃活動	NPO法人川崎町の資源をいかす会、国土交通省釜房ダム管理所、川崎町、川崎町森林組合、川崎町社会福祉協議会、株式会社バスク、熱海建設株式会社、富士通株式会社	○			
	44	貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり	新浜町内会、貞山運河倶楽部、カントリーパーク新浜、せんだいメディアアテック、NPO法人水・環境ネット東北、東北学院大学(平吹ゼミ)	○	○		
	45	水生生物による簡易水質調査	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所	○			○
	46	青下の杜プロジェクト	仙台市水道局、メタウォーター㈱、大成機工㈱、宮城県管工業協同組合、第一環境㈱、㈱宮城衛生環境公社、㈱日立製作所東北支社、㈱日水コン 東北支所、前澤給装工業㈱・前澤工業㈱・前澤化成工業㈱	○			○
	47	水源の森活動、工場周辺清掃活動、防風林育樹活動	キリンビール㈱仙台工場、日本森林業振興会	○			○
	48	水辺教室	環境生活部環境対策課、川崎町町民生活課	○			○
	49	増田川の清掃活動	キラキラバルク増田西、区長会等				○
	50	名取川水系河川水辺の国勢調査(底生動物)	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所				○
	51	仙台の切欠き魚道と小さな自然再生活動	NPO法人水・環境ネット東北、仙台リバーズネット・梅田川、宮城教育大学棟方研究室、カントリーパーク新浜、土木研究所自然共生研究センター、(株)深松組、仙台市河川課				○
	52	ガサガサ体験	キラキラバルク増田西				○
	53	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(広瀬川における天然アユの遡上調査)	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場、広瀬名取川漁業協同組合、宮城県水産林政部水産業基盤整備課				○
	54	蒲生干潟自然再生協議会及び構成員による活動	環境生活部自然保護課、蒲生干潟自然再生協議会、蒲生干潟自然再生協議会、蒲生を守る会、蒲生のまちづくりを考える会、日本野鳥の会宮城県支部、環境省東北地方環境事務所、仙台市、宮城県				○

阿武隈川流域	55	水質汚濁対策連絡協議会による活動	阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町、水系内消防本部	○			
	56	河川空間美化&竹財活用プロジェクト	NPO法人あぶくまの里山を守る会、一般財団法人丸森町観光物産振興公社	○			
	57	蔵王ジオパーク 出前講座「流れる水のはたらき」	蔵王町環境政策課ジオパーク推進室、蔵王町教育委員会	○	○	○	○
	58	南蔵王の荒地を広葉樹の森へ還元する事業	NPO法人蔵王のブナと水を守る会		○		○
	59	阿武隈川下流河川水辺の国勢調査(魚類)	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所				○
	60	亶理海岸清掃活動	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社				○
	61	みやぎの地域資源保全活用支援事業における生き物調査(白石市立福岡小学校)	白石市土地改良区、白石市立福岡小学校、宮城県大河原地方振興事務所農業農村整備部				○
62	亶理用水路学習会	亶理土地改良区、東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所、宮城県仙台地方振興事務所農業農村整備部、宮城県土地改良事業団体連合会、亶理町、山元町、みやぎ亶理農業協同組合				○	
複数流域にまたがる取組	63	フィールドミュージアム事業	フィールドミュージアム運営協議会、石巻市、南三陸町、特定非営利活動法人海の自然史研究所				○
	64	江合川・鳴瀬川堤防除草作業委託	大崎市(建設課)、国土交通省北上川下流河川事務所、大崎市古川水辺プラザ管理運営協議会	○			
	65	河川清掃	色麻町河川愛護会、色麻町	○	○		○
	66	水生生物による簡易水質調査	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所、下伊場野水辺の楽校協議会(鳴瀬川水系鳴瀬川)	○			○
	67	協定締結による国民参加の森づくり	林野庁東北森林管理局仙台森林管理署、民間団体、一般企業		○	○	○
	68	みやぎの里山林協働再生支援事業	環境生活部自然保護課、森林所有者、企業及び団体、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会等				○
	69	宮城県海ごみ環境教育学習	環境生活部循環型社会推進課、みやぎ海岸美化協議会	○			
	70	多面的機能支払交付金事業	多面的機能支払に係る活動に取組む活動組織(956組織)、土地改良区、自治会、PTA、子供会等	○	○	○	○
	71	みやぎスマイルリバープログラム	スマイルリバーサポーター(総称)、関係市町村	○	○	○	○
	72	みんなの森林づくりプロジェクト推進事業	水産林政部林業振興課、地域団体等27団体		○		○
73	百万本植樹事業	環境生活部自然保護課				○	

(1) 南三陸海岸流域

1) 南三陸青少年少女自然調査隊【南三陸町】

ラムサール条約湿地志津川湾や南三陸町の森・里・川・歴史を学習し、壁新聞制作(こどもエコクラブ全国フェスティバル2024特別賞「タカラトミー賞」受賞)等により、その素晴らしさを町内外の人たちへ伝え広げた。

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----



2) 田んぼの生き物観察会【南三陸町】

生き物の様子や特徴を観察することによって、水田とその周辺で生息している生き物との関係や環境保全の大切さを子どもたちに実感してもらった。
観察後は「南三陸米」のおにぎりを食べ、自然豊かな環境とそこで育つお米のおいしさを味わった。

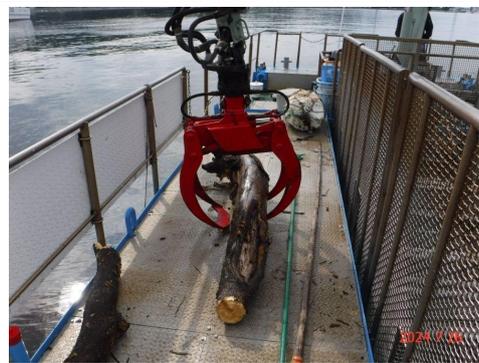
清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----



3) 気仙沼湾内の海面清掃作業【特定非営利活動法人 気仙沼清港会】

宮城県所有の海面清掃船『海清丸』を使用し海面に浮遊するごみの回収や、不法投棄等の監視パトロールを海洋から行ったほか、気仙沼湾内に流出した油(漁船の燃料等)を海上保安署と清掃船を航行させて攪拌する活動を実施した。

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----



4) 自然体験活動、社会協働教育活動、環境保全活動【特定非営利活動法人 浜わらす】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

小中学生向けの自然体験活動、学校や地域団体と連携した社会協働教育活動、毎月のビーチクリーン活動による環境保全活動を実施した。



5) ビーチクリーン(5月・7月・9月)【気仙沼本吉サーフィングクラブ】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

民間団体、行政機関や高校と連携し、各種ビーチクリーン活動を実施した。



6) 外尾川親水活動【気仙沼本吉サーフィングクラブ】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

外尾川中域で水生生物調査と水質調査を実施した。



7) 南三陸海岸流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)

【林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木を除去するための「除伐」、「除伐Ⅱ類」や林分密度の調整により、林床植生の発達を促すとともに造林木間の競争を緩和し残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、皆伐跡地には再造林や下刈作業を実施した。



8) 水田の生き物観察会【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

南三陸町立入谷小学校の児童2、3、4年生22名を対象として、新童子下集落協定内の水田周辺で生き物調査を実施した。

外部講師指導のもと、水生生物を中心に採取し観察を行って、生態系や環境保全について学習した。



(2) 北上川流域

9) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・湖沼・水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整、水質異常時の対応に関する取組、河川ゴミ対策や水質汚濁防止に関する啓発活動を実施した。



10) 環境美化活動【日本製紙株式会社 石巻工場】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

石巻工場および雲雀野発電所周辺の清掃を実施した。



11) 河川清掃、自然体験(カヌー体験、クラブ活動)、北上川とみやぎの運河群流域連携

【特定非営利活動法人 ひたかみ水の里】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

北北上運河の河川の清掃・除草活動、毎週土曜日のクラブ活動(カヌー体験、水質調査、アウトドアクッキング、河川清掃活動など)や川のイベント(みやぎの運河群と北上川上流めぐり、登米市で作った米の舟運再現イベント)等による環境保全推進活動を実施した。



12) クリーンアップ湖沼群【登米市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

登米市の重要な湖沼である長沼や平筒沼などの、豊かな自然環境の保全と環境美化のため清掃活動を、9月と3月の2回実施した。



13) 瀬峰川自然観察会「生き物調査」【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

未就学児から大人を対象とし、瀬峰川の自然環境とふれあい、生態系環境の観察会を開催し瀬峰川の豊かな生態系の保全等について理解を深めてもらう活動を実施した。



14) 「田んぼの学校」(稲作体験、生き物調査、施設見学)【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

稲作体験として稲の成長について、1年を通じて学習する活動を実施したほか、生き物調査として、生き物を採取することで、豊かな生態系や、農業農村の多面的機能について理解を深めた。
また、北上大堰から稲作体験を行った学習田までの施設を巡り、北上川からどのように農業用水が送水されているのか理解を深めた。



15) 森林づくりのための保育作業及び災害復旧箇所への植樹活動

【林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

NPO法人に国有林のフィールドを提供し、地域住民等との森林整備・保全活動等を実施した（森林整備・保全活動等：0.10ha（植付））。



16) 北上川流域における森林づくり（森林環境保全整備事業）

【林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木を除去するための「除伐」、「除伐Ⅱ類」や林分密度の調整により、林床植生の発達を促すとともに造林木間の競争を緩和し残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、皆伐跡地には再造林や下刈作業を実施した。



17) 栗駒山麓ジオパーク推進協議会「夏休み特別イベント：田んぼダム出前講座」

【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

流域治水システムの一層の醸成を図るため、栗駒山麓ジオパークビジターセンターで開催された夏休み特別イベントに栗原地方ダム総合事務所が実施する「ダムの役割」講座と共同でイベント出展し、田んぼダムの取組とその効果について、模型を用いて説明した。



18) 北上川水系水辺現地調査（鳥類）【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川管理上の基礎資料を作成するため、北上川水系北上川、旧北上川、江合川、新江合川、二股川、追波川の直轄管理区間を対象として、鳥類調査を実施した。

確認された主な重要種



ピンクイ

マガン

シジュウカラガン

コクガン

オシドリ

ミサゴ

19) 令和6年度 伊豆沼・内沼における外来魚遅滞相管理を目指した捕獲等業務

【環境省 東北地方環境事務所】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

電気ショッカーボート、定置網、三角網(サデ網)等による成魚及び稚魚等の捕獲、人工産卵床を用いた外来魚の卵の採取を実施した。また採取した外来魚データ(個体数、体長等)、捕獲(生息)場所の環境情報の把握、整理や、外来魚モニタリングにおける環境DNA調査の有用性を確認したほか、密放流対策として監視カメラ、注意喚起看板を設置した。

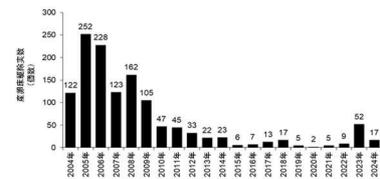


図1:人工産卵床によるオオクチバス産卵床駆除数

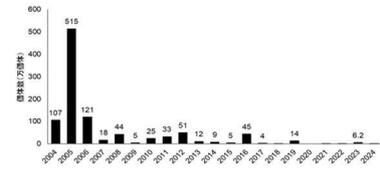


図2:三角網によるオオクチバス稚魚駆除数

20) ほたる水路・生き物調査【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

小中学校等と連携しほたる水路の除草作業及び生き物調査を実施しヘイケホタルの生息環境の保全することを目的とした、生態系保全活動に取り組んだ。



21) みやぎ出前講座「田んぼの学校」【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

登米市立東郷小学校5年生27人を対象として活動を実施した。「田んぼの役割について」をテーマに農業農村の持つ働きについて説明し、生き物調査とパックテスト(pHとCOD)を使用して水質調査を実施した。



22) 伊豆沼・内沼自然再生事業、よみがえれ在来生物プロジェクト

【環境生活部 自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

多様な生物が生息、生育する淡水湖沼の生態系の再生を目指し、自然再生推進法に基づく自然再生事業等として、エコトーンの造成、水質改善効果検討調査(伊豆沼の水質検査等)、在来生物増加促進対策(カラスガイの増殖・系統保存等)、外来生物対策(電気ショッカーボート等による外来魚の駆除等)、ハスの適正管理(大規模なハス刈取り)及び鳥類モニタリング調査を実施した。



(3) 鳴瀬川流域

23) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・湖沼・水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整、水質異常時の対応に関する取組、河川ゴミ対策や水質汚濁防止に関する啓発活動を実施した。



24) 堤防・公園除草業務【大崎市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

鳴瀬川の堤防及び隣接施設「下伊場野水辺の楽校親水公園」の良好な河川環境の維持を目的に除草やゴミ拾いを実施した。



25) しちがはまクリーンサポートプログラム、巡回監視・回収【七ヶ浜町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

しちがはまクリーンサポートプログラムには令和6年度末時点で、29団体の登録があり、のべ約672名による計76回の清掃活動が行われた結果、ゴミ袋928袋分を回収し処分した。



26) 野蒜築港の研究、伝承、遺産保護、地域活性化、跡地案内【野蒜築港ファンクラブ】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

野蒜築港に関する地域学習を啓発し、地域資産としての保全活用に努めるため、東松島市立鳴瀬桜華小学校6年生に対する校外学習への協力、会報（ファンクラブ通信）上での意見交換・研究報告を実施した。



27) 鳴瀬川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)

【林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良な造林木を除去するための「除伐」、「除伐Ⅱ類」や林分密度の調整により、林床植生の発達を促すとともに造林木間の競争を緩和し残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、皆伐跡地には再造林や下刈作業を実施した。



28) みやぎ出前講座(仕組み丸わかり!模型で説明「田んぼダム」)【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

美里町からの申し込みを受け、美里町立中埠小学校及び美里町立青生小学校を対象に実施した。

田んぼダムの仕組みとその効果について、説明をしたほか、模型を用いた実験を行った。



29) みやぎ出前講座(仕組み丸わかり!模型で実験「田んぼダム」)【農政部 農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

大和町からの申し込みを受け、大和町立宮床小学校の生徒を対象に実施した。

田んぼダムの仕組みとその効果について、模型を用いて説明を行った。



30) 鳴瀬川水系水辺現地調査(魚類)【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川管理上の基礎資料とするため、鳴瀬川水系鳴瀬川、吉田川、鞍坪川、多田川、善川、竹林川の直轄管理区間を対象として、魚類調査を実施した。

確認された主な重要種



スナヤツメ南方種



ドジョウ



ミナミメダカ



スナヤツメ北方種



二ホンウナギ

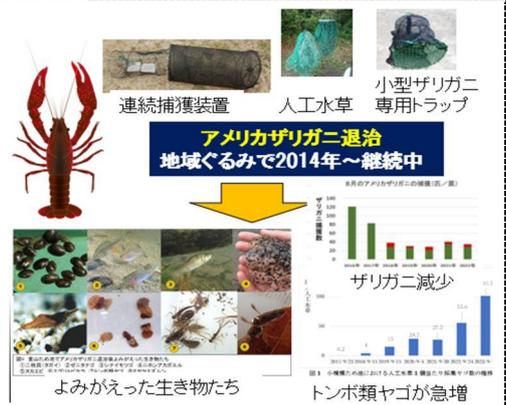


ギバチ

31) アメリカザリガニ防除活動【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

豊かな自然を保全することを目的に、旧品井沼周辺ため池群において、連続捕獲装置と人工水草のしばりつけにより、アメリカザリガニを合計で56,351匹捕獲した。



32) 旧品井沼周辺ため池群を水源とする小川の生き物観察会

【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

豊かな自然を保全する後継者育成を目的に、広長川の豊かな自然にふれあい、外来種防除などの保全活動を実施した。



33) シナイモツゴ里親小学校への支援活動【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

豊かな自然を保全する後継者育成を目的に、県内4つの小学校でシナイモツゴを卵から1年間育てる支援活動を実施した。



シナイモツゴ里親小学校の取り組み

①稚魚の取り上げ	鹿島台小	5/28
②稚魚の取り上げ	鳴瀬桜華賞	5/21
③飼育池へグリーンウォーターを投入	鹿島台小	6/2
④特別授業 捕獲ザリガニの観察	石巻市開北小	6/10

34) シナイモツゴ放流会【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

豊かな自然の保全と環境教育を目的に、県内4つの小学校で卵から1年間育てたシナイモツゴ稚魚300尾を、ブラックバスを駆除したため池へ放流する活動を実施した。



シナイモツゴ放流会6月26日 大崎市鹿島台の里山のため池、鹿島台小57名、小牛田小24名の里親が県内4小学校と2企業が育てた300尾のシナイモツゴを放流

35) 保全ため池の見学および実習①【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

豊かな自然を保全する後継者育成を目的に、県内保育園児、中学生及び団体を対象に水生生物の観察会を実施、高校生を対象に講和及び実地研修を実施したほか、大学生を対象に防除作業実習を実施した。



36) 保全ため池の見学および実習②【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

環境省、経団連職員への旧品井沼周辺ため池群における取組状況の現地視察会を開催したほか、令和6年度農業農村整備サマーセミナー「ため池の防災、管理・保全」にて理事長により、旧品井沼周辺ため池群における生物多様性保全の取り組みを紹介した。



37) 全国シンポジウム。「水辺の自然再生共同シンポジウム」

【特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

全国シンポジウムを開催し、アメリカザリガニ関連の新知見を発信したほか、自然再生ツールの実物展示を行った。



2024年水辺の自然再生共同シンポジウム 11月16日 東京開催
 ①3年ぶりに東京開催、理事長が趣旨説明 ②全国から80名が参加
 ③農水省が初参加、アメリカザリガニ防除の新事業の成果を紹介
 ④ポスター講演講師によるショートスピーチ ⑤ポスター展示では講師と参加者が直接討論 ⑥総合討論の座長とパネラー、里山たため池生態系の保全戦略を論議、今後の課題を明確にした

(4) 名取川流域

41) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整や水質異常時の対応に関する講習会、河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動を実施した。



42) 広瀬川1万人プロジェクト(河川・海岸一斉清掃)【仙台市(建設局百年の杜推進課)】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

「杜の都・仙台」のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするために、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携して、春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を実施した。



43) 釜房ダム周辺道路の清掃活動【特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

川崎町をゴミの少ない町・ゴミも大切にする町にし、釜房湖の水質悪化抑制に寄与することを目的とし、釜房ダム周辺の道路沿いのゴミ拾いを実施したほか、ゴミの投げ捨てを抑制するため、道路沿いの桜並木の手入れを実施した。



44) 貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり

【特定非営利活動法人 水・環境ネット東北】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

新浜町内会が主催し、渡し舟フットパスのイベントが開催された。

また、貞山運河倶楽部が主催し、貞山運河小屋めぐり、貞山運河フォーラムが開催された。



45) 水生生物による簡易水質調査【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

水生生物を調べることで、水質状況を評価しながら河川愛護の認識を深めてもらうことを目的に、仙台市立八木山中学校の生徒を対象に、水生生物による簡易水質調査を実施した。



46) 青下の杜プロジェクト【仙台市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

企業等と協働により水源涵養林の保全育成及び水源保全の啓発を図ることを目的に、水源涵養林の保全活動（花植え体験、間伐、鳥の巣箱設置・どんぐり拾い）を実施した。



47) 水源の森活動、工場周辺清掃活動、防風林育樹活動

【麒麟麦酒株式会社 仙台工場】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

仙台工場で使用する水は釜房ダムの水であることから、釜房ダムの水源地の森林保全活動を実施した。

工場周辺の清掃活動を定期的に行っている。

東日本大震災時の津波により壊滅的な被害を受けた国有林を再生する活動を実施した。



48) 水辺教室【環境生活部 環境対策課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

川崎町立川崎小学校の生徒を対象に水辺の環境を題材とした講義や野外観察（水生生物調査、水質調査）をとおり、身近な水環境を守っていくことの大切さや水質を保全することの重要性を学んでもらう水辺教室を開催した。



49) 増田川の清掃活動【キラキラパーク増田西】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

堰橋から JR 東北本線までの区間のゴミ清掃活動を3月から12月にかけて6回ほど実施した。



50) 名取川水系河川水辺の国勢調査(底生動物)【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

名取川水系における底生動物の生息状況を把握し、河川環境保全・管理の基礎資料とすることを目的に、名取川水系の底生動物の経年変化を調査した。

確認された主な重要種



ヨンダカワザンショウガイ



ガタツキ



マメコブシガニ



クビボソコガシラミスムシ



アメリカツノウズムシ



アメリカナミウズムシ



シナヌマエビ



コモチカワツボ

確認された主な外来種

51) 仙台の切欠き魚道と小さな自然再生活動【特定非営利活動法人 水・環境ネット東北】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

自然再生活動に向けたきっかけ作りを目的とし、竜の口溪谷下流及び梅田川に設置した切欠き魚道において、市民参加による簡易な補修作業を実施した。



52) ガサガサ体験【キラキラパーク増田西】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

増田川親水公園を活用して、ガサガサ体験(水生生物調査)や河川敷でのスイカ割り体験を等の親水活動を実施した。



53) 持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(広瀬川における天然アユの遡上調査)

【水産技術総合センター】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

5月、6月に投網を用いてアユを採捕し、天然アユの遡上量について調査した。調査結果は、宮城県のホームページ上に公開した。



54) 蒲生干潟自然再生協議会及び構成員による活動【環境生活部 自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

渡り鳥にとって渡来の中継地である良好な湿地環境の保全、生態系の劣化防止、干潟の適正な空間利用(持続可能な利用)を図り、環境保全活動・環境教育を通して生きた自然に接することができる場、多様な主体が交流する場、情報を共有する場を創出することを目的に、蒲生干潟自然再生協議会の開催、構成員による干潟の保全や利活用を実施した。



(5) 阿武隈川流域

55) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整や水質異常時の対応に関する講習会、河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動を行った。



56) 河川空間美化&竹財活用プロジェクト【特定非営利活動法人 あぶくまの里山を守る会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

毎月第3日曜日のボランティアによる竹林清掃と毎週2回の会員による整備作業を実施したほか、間伐した竹を生ゴミコンポストの基材に活用する活動を行った。

3年以上活動を継続した結果、見違えるほど河川空間が美しくなった。



57) 蔵王ジオパーク構想 出前講座「流れる水のはたらき」【蔵王町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

環境保全について理解を深めるとともに、郷土愛の醸成を図ることを目的に、河川の上流～下流（海）における、住んでいる生物、石や地形、土地利用の変化を見ることで「浸食・運搬・堆積」の作用が私たちの生活にどのような恩恵や災害をもたらしているかを学ぶ講座を開いた。



58) 南蔵王の荒地を広葉樹の森へ復元する事業

【特定非営利活動法人 蔵王のブナと水を守る会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

整備した3つの森（13.4ha）の下草刈り、枝打ち、間伐等の育林作業をした。また、高木の成長を調査した。他にも、カメラを設置し動物の生態調査を行い HP で公開した。



59) 阿武隈川下流河川水辺の国勢調査（魚類）【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

阿武隈川下流流域の魚類の生息状況の経年変化を把握し、河川環境保全・管理の基礎資料とするため、阿武隈川下流における魚類の生息状況の経年変化を調査した。

確認された主な重要種



ヒイラギ



テングヨウジ



キタドジョウ



ニホンウナギ

確認された主な外来種



チャネルキャットフィッシュ



ブルーギル



オオクチバス



コクチバス

60) 亘理海岸清掃活動【コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

健全な水循環を維持することによって本来生息しうる多様な動植物の生態系を保つため、生体系保護等の「環境保全」、地域の魅力向上等の「社会的意義」、環境意識の向上等の「教育的・啓発的効果」の目的及び意義をもって海岸清掃活動を実施した。



61) みやぎの地域資源保全活用支援事業における生き物調査(白石市立福岡小学校)

【農政部 農村振興課】

清らか

豊か

安全

生態系

白石市土地改良区職員が指導員となり、白石市立福岡小学校の2年生児童を対象として福岡長袋地域の水源における生き物調査を実施した。また、採取した生き物を観察し、地域の生態系の保全及び環境保護について学習した。



62) 亘理用水路学習会【農政部 農村振興課】

清らか

豊か

安全

生態系

逢隈小学校4年生86名、亘理小学校4年生120名、山下第一小学校4年生11名を対象に亘理用水路の役割について学習会等を開催し、阿武隈川が水田に暮らす生物を育て、人間の暮らしを支えていることについて学習した。



(6) 複数流域にまたがる取組

◆南三陸海岸・北上川流域での取組◆

63) フィールドミュージアム事業【環境省 東北地方環境事務所】

清らか

豊か

安全

生態系

自然体験拠点としての石巻・川のビジターセンター及び南三陸・海のビジターセンターの運営のほか、自然体験プログラムの企画、実施を行った。



◆北上川・鳴瀬川流域での取組◆

64) 江合川・鳴瀬川堤防除草作業委託【大崎市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

江合川・鳴瀬川の堤防にて機械除草、集草処分、散在塵芥処理、河川愛護活動を実施した。



65) 河川清掃【色麻町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川の整備により天災を防止し、地域住民の共同の福祉を増進することを目的に雑草木の刈り払いを実施した。



66) 水生生物による簡易水質調査【国土交通省 東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

水生生物を調べることで、水質状況を評価しながら河川愛護の認識を深めてもらうことを目的に、大崎市立古川西小学校、加美町立西小野田小学校、加美町立中新田小学校の生徒を対象に、水生生物による簡易水質調査を実施した。



◆名取川・阿武隈川流域での取組◆

67) 協定締結による国民参加の森林づくり

【林野庁 東北森林管理局 仙台森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

地域住民や企業が自主的に行う森林整備活動を推進するため、国民参加の森林として設定する「ふれあいの森」、国有林野を活用した体験活動等を実施する「遊々の森」、東日本大震災により被災した海岸防災林再生活動を実施する「社会貢献の森」と協定を締結（協定面積：約530ha）し、森林整備活動や多様な森林体験・自然観察等の取組みを実施した。



◆北上川・鳴瀬川・阿武隈川流域での取組◆

68) みやぎの里山林協働再生支援事業【環境生活部 自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

近年、手入れが行き届かず荒廃が進む里山林において、CSR 活動の一環として森林づくりに取り組む企業と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援した。



◆南三陸海岸・北上川・鳴瀬川・名取川・阿武隈川流域での取組◆

69) 宮城県海ごみ環境教育学習【環境生活部 循環型社会推進課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

海岸漂着物等の問題の解決に向けて、将来に渡る継続的な対策を行うことを目的に、県内の小学校で子どもが海のごみについて理解を深められるよう、専門講師による環境教育を実施した。



70) 多面的機能支払交付金事業【農政部 農山漁村なりわい課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

地域の共同活動により、農地及び農業用水路等の保全管理を行った。具体的には、対象区域の水路の泥上げ・草刈り・補修等を実施したほか、子供会等と連携した生きもの調査を実施した。



71) みやぎスマイルリバープログラム【土木部 河川課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

管轄する各土木事務所または各地方ダム総合事務所が要件を満たす団体をスマイルリバーサポーターに認定し、必要な物品の支給及び貸出等を行い、県管理河川におけるボランティア活動の支援を実施した。



72) みんなの森林づくりプロジェクト推進事業【水産林政部 林業振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

里山林の整備や緑化活動を実施している団体に対し、森林整備などの森林づくり活動、環境緑化活動の支援を実施した。



73) 百万本植樹事業【環境生活部 自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

被災地での緑化活動をはじめ、市町村、住民団体、ボランティア団体、企業等が地域の緑化推進を目的に自ら植樹活動を行う場合に、当該団体等に県が予算の範囲内において緑化木及び植樹用資材を配布する支援を実施した。



3 水道水源特定保全地域の指定

水道水源特定保全地域は、ふるさと宮城の水循環保全条例に基づき、流域の健全な水循環を保全するため、「山間部の水道水源地域のうち、その地域の良好な水循環の保全を図る上で特に重要と認められる区域」を指定することとなっている。

そのため、流域の水循環の出発点である重要な水源かん養機能（降水を土壤に浸透・保水させて、その後、時間をかけ河川へ水を供給する機能）を有しており、生態系が安定し、生命活動が盛んな天然又はそれに近い山間部の森林地域を水道水源特定保全地域として指定している。

水道水源特定保全地域の指定面積は 1,118.3km²で、県土の約 15.4%を占める。指定状況については、下記のとおり。

- ・ 鳴瀬川流域：大和町、色麻町、加美町の一部を、H22年指定（R2年変更（拡張））
- ・ 北上川流域：栗原市、大崎市の一部を、H24年指定（R3年変更（拡張））
- ・ 名取川流域：仙台市、川崎町の一部を、H24年指定（R3年変更（拡張））
- ・ 阿武隈川流域：白石市、蔵王町、七ヶ宿町、村田町の一部を、R5年指定



注1 指定区域は、いずれも県西部の奥羽山脈付近に集中しており、指定区域の70%以上は国有林である。

注2 地域内で開発事業を実施する場合は、条例に基づく届出が必要となる場合がある。

注3 詳細な区域は、県環境対策課のホームページを参照のこと。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/suidousuigen.html>

図Ⅱ 水道水源特定保全地域

4 流域水循環計画推進会議の開催

流域の健全な水循環の保全を推進するためには、県民、民間団体、NPO法人、事業者、行政機関等の各主体が、それぞれの立場に応じた役割分担のもと、自主的・積極的かつ連携した水循環保全施策に取り組む必要がある。

そのため、平成21年度から毎年（東日本大震災の影響により、平成22年度及び平成23年度は中止。令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により開催を見送ったが、各団体の取組状況をまとめ、情報共有を図った。）各流域で活動している民間団体や行政機関等を参集して、各団体の活動及び行政機関の実施した取組の情報共有を行うとともに、意見交換を行う場として流域水循環推進会議を開催している。

表Ⅳ これまでの開催経緯

年度	流域水循環計画推進会議 開催内容
H21	意見交換、事業情報提供等 (鳴瀬川流域)
H22	東日本大震災の影響により中止
H23	東日本大震災の影響により中止
H24	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H25	基調講演、事業情報提供、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H26	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H27	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H28	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H29	現地視察(野蒜築港跡、北上運河、カヌー体験等)、会議(情報提供等) (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H30	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
R1	現地視察(加御坊山、蕪栗沼、長沼ダム、伊豆沼・内沼等)、会議(基調講演、事業情報提供等) (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
R2	新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催中止、書面での情報共有
R3	//
R4	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (南三陸海岸・阿武隈川流域個別)
R5	取組事例紹介、意見交換等 (北上川・鳴瀬川・名取川流域個別)
R6	取組事例紹介、意見交換等 (名取川・阿武隈川流域合同)

5 管理指標による状況評価

流域水循環計画では、水循環に関わる4つの要素について現状を把握するための管理指標を設定し、その評価に基づいて健全な水循環の保全を図るための施策を効果的に推進することとしている。令和6年度の管理指標と流域毎の状況については、次のとおりであった。

(1) 南三陸海岸流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中8.5点で、前年より0.7点下がっているものの近年はおおむね横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は、10点満点中9.0点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中7.2点で、前年より0.4点上昇した。海岸整備指標は、沿岸部の復旧・復興工事の進捗により上昇傾向となっている。

「豊かな生態系」は、10点満点中5.5点で、前年より0.1点下がっているものの近年はおおむね横ばいで推移している。

表V-1 南三陸海岸流域の管理指標の状況

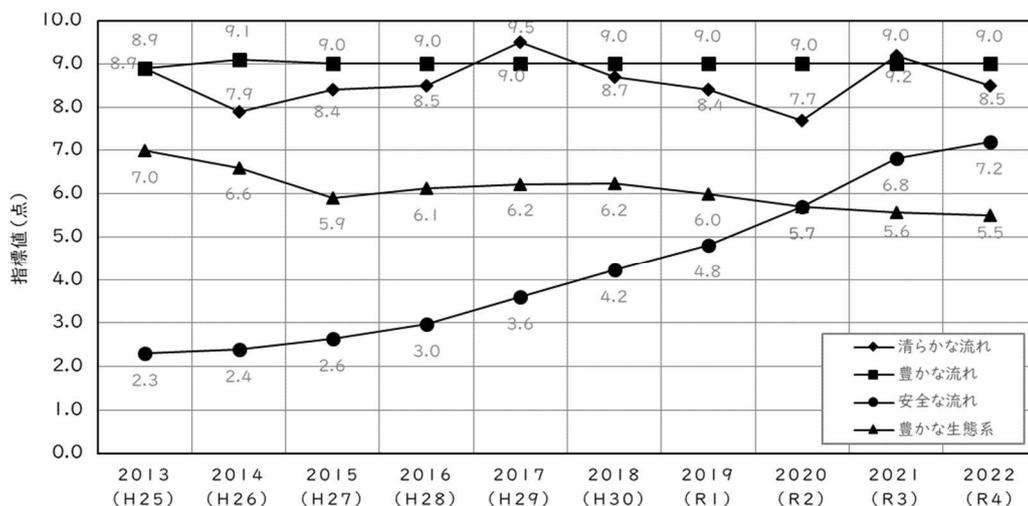
南三陸海岸流域		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	増減(前年比)		
清らかな流れ	水質環境基準達成度	8.9	7.9	8.4	8.5	9.5	8.7	8.4	7.7	9.2	8.5	-0.7	↘	
	豊かな流れ	8.9	9.1	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	0.0	→
安全な流れ	地下水涵養指標	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	0.4	↗
	正常流量達成度	9.6	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0			
	河川整備指標	2.3	2.4	2.6	3.0	3.6	4.2	4.8	5.7	6.8	7.2			
豊かな生態系	海岸整備指標	0.3	0.5	1.0	1.6	2.9	4.1	5.2	7.0	9.2	9.9	-0.1	↘	
	植物環境指標	7.0	6.6	5.9	6.1	6.2	6.2	6.0	5.7	5.6	5.5			
	河川生物生息環境指標	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2			
		7.8	6.9	5.6	6.1	6.3	6.3	5.8	5.1	4.9	4.7			

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和6年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和4年度値となる。

図II-1 南三陸海岸流域の管理指標の経年変化



(2) 北上川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中7.0点で横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は、10点満点中8.6点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中7.8点で横ばいで推移し、海岸整備指標は、10点であり沿岸部の復旧・復興工事は完了している。

「豊かな生態系」は、10点満点中6.6点で、前年より0.1点下がったものの近年は概ね横ばいで推移している。

表V-2 北上川流域の管理指標の状況

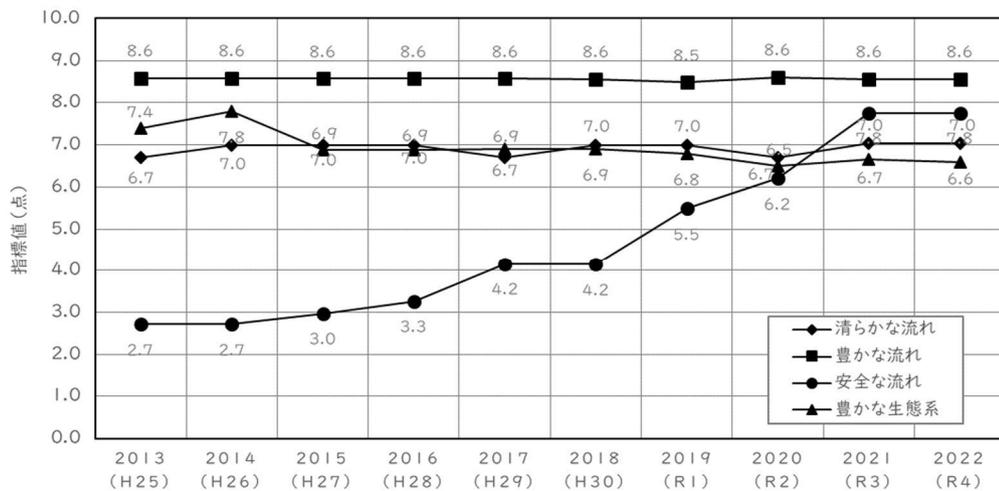
北上川流域		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	6.7	7.0	7.0	7.0	6.7	7.0	7.0	6.7	7.0	7.0	0.0	➡
	豊かな流れ	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.5	8.6	8.6	8.6	0.0	➡
	地下水涵養指標	7.2	7.2	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1		
	正常流量達成度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8	10.0	10.0	10.0		
安全な流れ		2.7	2.7	3.0	3.3	4.2	4.2	5.5	6.2	7.8	7.8	0.0	➡
	河川整備指標	5.4	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5		
	海岸整備指標	0.0	0.0	0.5	1.0	2.8	2.8	5.5	6.9	10.0	10.0		
豊かな生態系		7.4	7.8	6.9	6.9	6.9	6.9	6.8	6.5	6.7	6.6	-0.1	↔
	植物環境指標	-	-	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8		
	河川生物生息環境指標	7.4	7.8	8.0	8.0	8.0	8.0	7.8	7.2	7.5	7.4		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和6年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和4年度値となる。

図II-2 北上川流域の管理指標の経年変化



(3) 鳴瀬川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中6.9点で、横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は、10点満点中8.7点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中8.7点で横ばいで推移し、海岸整備指標は、10点であり沿岸部の復旧・復興工事は完了している。

「豊かな生態系」は、10点満点中6.9点で前年より0.3点下がっているものの、植物環境指標、河川生物生息環境指標ともに近年はおおむね横ばいで推移している。

表V-3 鳴瀬川流域の管理指標の状況

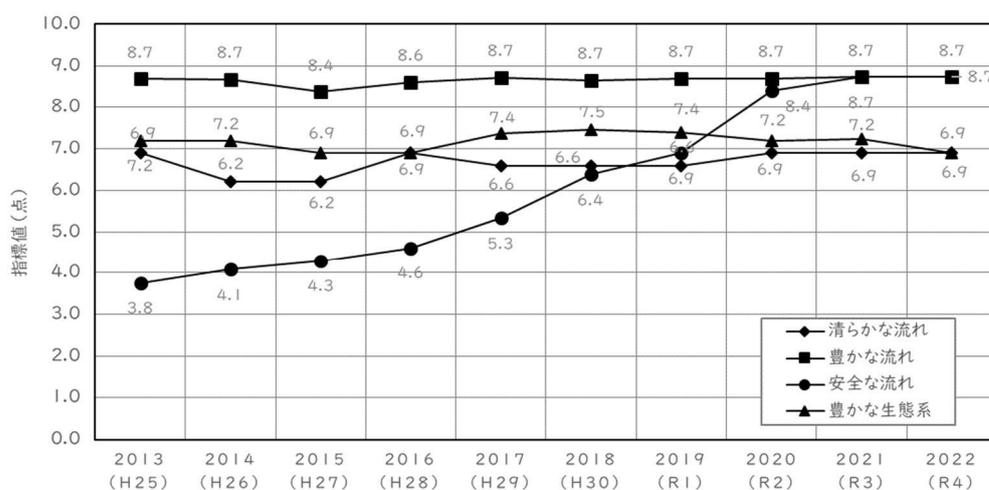
鳴瀬川流域		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	6.9	6.2	6.2	6.9	6.6	6.6	6.6	6.9	6.9	6.9	0.0	➡
	豊かな流れ	8.7	8.7	8.4	8.6	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0	➡
安全な流れ	地下水涵養指標	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	0.0	➡
	正常流量達成度	9.9	9.9	9.3	9.7	10.0	9.8	9.9	10.0	10.0	10.0		
	河川整備指標	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.5	7.5	7.5		
豊かな生態系	海岸整備指標	0.1	0.8	1.2	1.8	3.3	5.4	6.5	9.3	10.0	10.0	-0.3	↩
	植物環境指標	7.2	7.2	6.9	6.9	7.4	7.5	7.4	7.2	7.2	6.9		
	河川生物生息環境指標	-	-	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2		
		7.2	7.2	7.6	7.6	8.6	8.7	8.6	8.3	8.3	7.7		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和6年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和4年度値となる。

図II-3 鳴瀬川流域の管理指標の経年変化



(4) 名取川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中7.6点で、横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は、10点満点中8.6点で、前年より0.3点上昇した。地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに近年はおおむね横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中8.9点で、前年より0.1点上昇し、海岸整備指標は、10点であり沿岸部の復旧・復興工事は完了している。

「豊かな生態系」は、10点満点中7.3点で、植物環境指標及び河川生物生息環境指標ともに横ばいで推移している。

表V-4 名取川流域の管理指標の状況

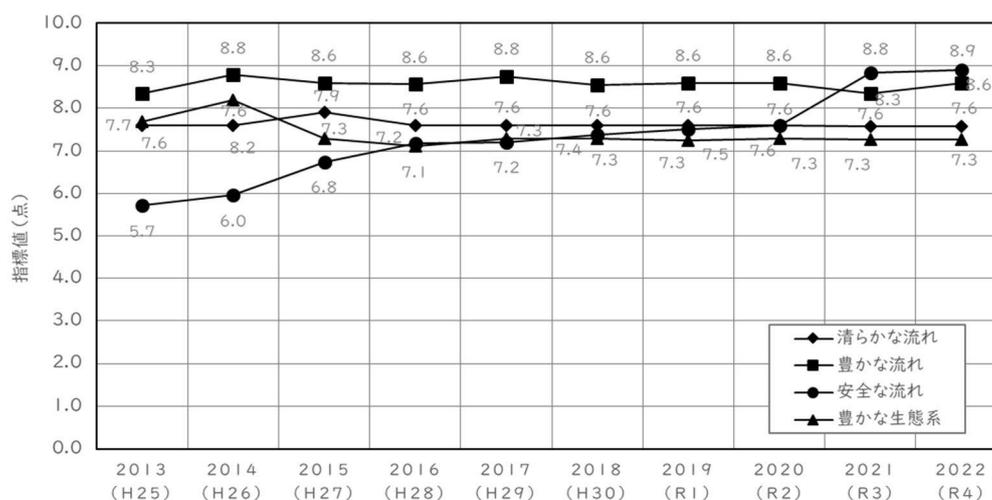
名取川流域		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	7.6	7.6	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	0.0	⇒
	豊かな流れ	8.3	8.8	8.6	8.6	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.6	0.3	↗
安全な流れ	地下水涵養指標	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	0.1	↗
	正常流量達成度	9.0	9.9	9.5	9.5	9.8	9.5	9.6	9.6	9.1	9.6		
	河川整備指標	5.7	6.0	6.8	7.2	7.2	7.4	7.5	7.6	8.8	8.9		
豊かな生態系	海岸整備指標	3.5	4.0	5.6	6.5	6.5	6.9	7.1	7.2	9.8	10.0	0.0	⇒
	植物環境指標	7.7	8.2	7.3	7.1	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3		
	河川生物生息環境指標	-	-	6.4	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5		
		7.7	8.2	8.2	7.8	8.1	8.1	8.0	8.0	8.0	8.0		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和6年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和4年度値となる。

図II-4 名取川流域の管理指標の経年変化



(5) 阿武隈川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」の管理指標値は10点満点中8.1点で、前年より0.7ポイント下がったものの、近年は概ね横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は10点満点中9.0点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は10点満点中8.5点で横ばいで推移し、海岸整備指標は、10点であり沿岸部の復旧・復興工事は完了している。

「豊かな生態系」は10点満点中7.0点で、前年より0.1ポイント下がったものの、植物環境指標、河川生物生息環境指標ともに近年はおおむね横ばいで推移している。

表V-5 阿武隈川流域の管理指標の状況

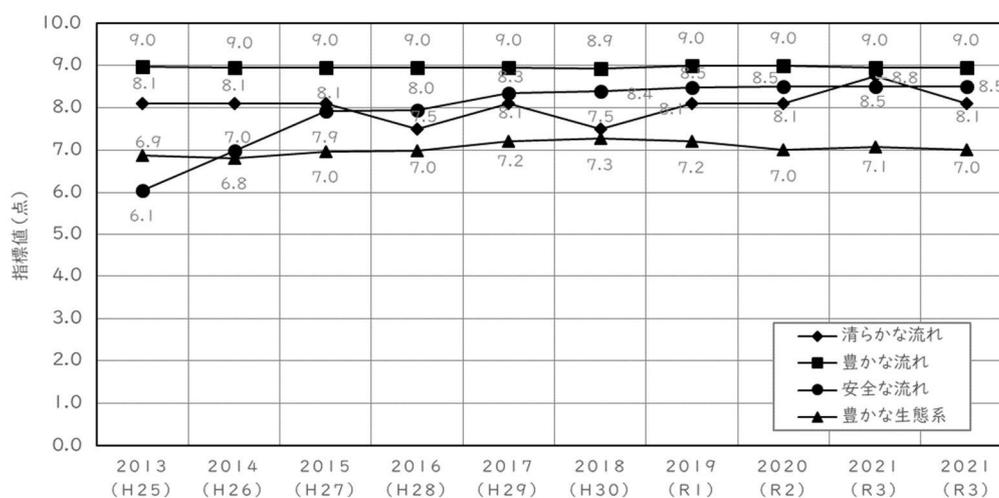
阿武隈川流域		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2021 (R3)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	8.1	8.1	8.1	7.5	8.1	7.5	8.1	8.1	8.8	8.1	-0.7	↘
	豊かな流れ	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.9	9.0	9.0	9.0	9.0	0.0	→
安全な流れ	地下水涵養指標	8.0	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9		
	正常流量達成度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.9	10.0	10.0	10.0	10.0		
	河川整備指標	6.1	7.0	7.9	8.0	8.3	8.4	8.5	8.5	8.5	8.5	0.0	→
豊かな生態系	海岸整備指標	6.9	6.9	7.0	7.0	6.9	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		
	植物環境指標	5.2	7.1	8.9	9.0	9.7	9.8	10.0	10.0	10.0	10.0		
	河川生物生息環境指標	6.9	6.8	7.0	7.0	7.2	7.3	7.2	7.0	7.1	7.0	-0.1	↘
豊かな生態系	植物環境指標	6.2	6.2	6.2	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3		
	河川生物生息環境指標	7.5	7.4	7.7	7.7	8.1	8.2	8.1	7.7	7.8	7.7		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和6年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和4年度値となる。

図II-5 阿武隈川流域の管理指標の経年変化



(6) 宮城県全体の管理指標まとめ

「清らかな流れ」は海域 COD の環境基準達成度が減少したことにより、前年より 0.3 点下がっている。

「豊かな流れ」は正常流量達成度が上昇したことにより、前年より 0.1 点上昇している。

「安全な流れ」は、海岸整備指標の復旧・復興工事が進捗したことにより、前年より 0.2 点上昇となっている。

「豊かな生態系」は、植物等の指標生物の確認種数が減少したことにより、前年より 0.1 点下がっている。

表 V-6 宮城県全体の管理指標の状況 (R3→R4)

流域	清らかな流れ		豊かな流れ		安全な流れ		豊かな生態系	
南三陸海岸流域	9.2 → 8.5 点		9.0 → 9.0 点		6.8 → 7.2 点		5.6 → 5.5 点	
北上川流域	7.0 → 7.0 点		8.6 → 8.6 点		7.8 → 7.8 点		6.7 → 6.6 点	
鳴瀬川流域	6.9 → 6.9 点		8.7 → 8.7 点		8.7 → 8.7 点		7.2 → 6.9 点	
名取川流域	7.6 → 7.6 点		8.3 → 8.6 点		8.8 → 8.9 点		7.3 → 7.3 点	
阿武隈川流域	8.8 → 8.1 点		9.0 → 9.0 点		8.5 → 8.5 点		7.1 → 7.0 点	
宮城県全体	8.1 → 7.8 点 (目標値 8.7 点)		8.7 → 8.8 点 (目標値 8.7 点)		8.1 → 8.3 点 (目標値 7.0 点)		6.7 → 6.6 点 (目標値 7.3 点)	

(指標値は10点満点) (カッコ内はR4年度値における目標値)